

## 馬場市長所信表明

# 歩いて暮らせるまちをめざして



開催中の22年第1回市議会定例会



馬場市長 所信表明を行います。まちづくりの考え方を5つの柱に分けてご説明し、所信の一端の表明とさせていただきます。

### はじめに

昨年12月20日に執行された東久留米市長選挙で、多くの有権者のご支持をいただき、第7代東久留米市長に就任させていただきましたことになりました。あらためて市長という職の責任の重さを痛感しているところです。

3月1日から23日までの会期中、22年第1回市議会定例会が開かれています。昨年12月20日に行われた市長選挙で当選した馬場市長は、就任後初めての市議会に臨み、市政運営の基本方針および当面の課題に対する所信を明らかにし、市民ならびに市議会の協力を求めました。今号では、そのあらましをお知らせします。詳しくは企画調整課 ☎470・7702へ。

### 1、市民参加と市民対話とともに歩むまち

私は、選挙を通じて「歩いて暮らせるまち」を構築する理想とするまちづくりの考え方を示させていただきました。この考え方は4年間の任期中、市政運営の根本に据えていく所存です。そして、情報公開市民参加、市民との対話による合意形成に努めていきたいと考えております。

### 2、にぎわいと安心のあるまち

私は、市民こそが自治の主体者であると考えています。このために、情報公開によって説明責任を果たし、また、タウンミーティングを開催し、市民との対話の機会を持つことを通じて、市民参加を保障するとともに、市政運営の基本を定める条例の制定も視野に入れてまいります。

### 5、将来にツケを残さない市民のための行財政改革

4つの柱に基づく施策を展開していくためにも、そして市政の安定的運営のためにも行財政改革が必要になります。私は、当面、次の3つの改革に取り組みます。

### 無駄を排除する改革

市の財政状況は20年度決算が示すとおり、単年度収支は赤字、経常収支比率は99.3%という深刻な状態にあります。そして、22年度は大幅な歳入減少が見込まれており、当面、歳入改善は望めないものと考えます。したがって、人件費を含め事務事業を総点検し、健全な財政運営を目指

### 行政組織運営の改善

市民の負託に応えられる市役所であるために、職員一丸となって行政組織運営の改善に取り組みます。この改善に当たっては、とりわけ人材育成を重視いたします。

### 新しい公共の構築

私は、市民のための行財政改革は、行政を市民とともにつくる「市民的公共」へと変えていく改革であると考えています。行政と市民、団体そして地域の事業者が協働し、公共サービスを拡充して、市民生活の質を向上させていく「新しい公共」の構築に取り組むとともに、「公」が果たす役割を明確にしながら、行政の外部化・市民化を進めたいと思

### 22年度予算編成

最後に、22年度予算について申し上げます。市長就任から、短い間で予算の精査を行うことは困難でした。このため、新年度の行政運営経費について暫定予



南沢湧水群は市民共有の宝

### 《今号の主な内容》

- ・3月末で第八小学校が閉校します
- ・第1回市議会定例会を開催中
- ・⑦医療証を送付します
- ・飼いの登録と狂犬病予防注射を実施します

2面  
3面  
4面  
8面

### 市ホームページに掲載する「パナー広告」を募集中!!

3月26日(金)までに、申し込みを。詳しくは5面をご参照ください。

### 3、水とみどりの保全、自然との共生のまち

落合川と南沢湧(ゆう)水群は、平成の名水百選に選定された市民共有の宝です。さらに、屋敷林や緑地保全地域と残された農地が醸し出す風景は、ふるさとを感じさせる大切なものです。私たちは、

### 4、平和と人権を尊重するまち

平和を希求し、人権が尊重されることは、行政運営だけではなく、すべての面における前提です。平和市長会議への加盟も視野に入れ、平和事業を推進していきます。また、社会的弱者に光を当

### おわりに

閉塞(へいそく)感を漂わせながら、大きく変わりつつある今日の日本社会において、わが東久留米市を「歩いて暮らせるまち」コンパクトシティにしていくためには、市民の皆様の声に耳を傾け、市民の皆様と一緒に歩む以外にないと考えております。改めて市民の皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

これを次世代に引き継ぐ責務があると考え、その施策を推進するためには、「湧水・清流保全都市宣言」を行うことも意義があるものと考えています。

また、地球温暖化防止のために、市レベルでなすべきことをなし、市民の皆様一人ひとりの意識と行動が必要になります。市民の皆様とともに環境を重視したまちを創(つく)り上げてまいります。

て、支援を行うことは、社会的セーフティネットとしての行政の役割でもあります。市民一人ひとりが「居場所と出番」を見いだすことができ、人が支え合って生きていけるまちを目指します。そして、弱い立場の人々、少数の人々の視点を尊重しながら、地域の絆(きずな)を再生していきたいと思

算を編成し、4月に改めて本予算を示させていただきます。